

支部だより

三十代の若い会員も十名近く参加され、盛大且つ、世代を超えた絆を確かめる同窓会と成りました。衷心よりお礼申し上げます。三十代の方々がその進行を担ってくれた抽選会、市職員のリランテアによる歌謡ショー、福岡支部協賛によるマジックショーなど、楽しい企画で笑顔が弾け、老若男女の垣根なき談笑の中、瞬く間に時が過ぎていきました。フィナーレは定番の校歌斉唱と炭坑節。とりわけ印象的だったのは、同窓生に負けじと校歌を高唱し、力強く炭坑節を踊る校長先生のお姿でした。母校の未来は、校長先生をはじめとする諸先生方の双肩に掛っています。その方が、私たちと一心同体の気持ちで校歌を歌い、炭坑節を踊ってくださいったことは、母校を思う一卒業生として、言葉に尽くせぬ喜びがあります。懐旧の思いは、当然、一次会で尽きることはなく、多くの方々が二次会へとその名残を繋ぎます。そこでは皆、肝胆相照らすかの如くに飲み、語り、そしてマイクで「自慢の喉(?)を競い合う」という、至福の一時に浸ったそうです。その規模、内容共に今次総会・懇親会が大きな成果を収めたため、次回を担う私としては、いささかプレッシャーを感じております。顧問、役員の方々、そして本部並びに隣接する福岡支部の皆様からの倍旧のご支援、ご協力を切に願っています。

この度の総会では、エリアの拡大に伴い、規定を「開催は三年毎とし、開催年度の二月第三日曜日」と改正いたしました。したがって、次回総会・懇親会は、二〇二二年二月十九日(日曜)に予定されております。エリア内の会員は言う迄もなく、エリア外の会員も大歓迎であり、多数の皆様のご参加を待ちしております。



福岡支部だより

支部総会に向けて

吉田 秀俊

(昭和三十八年卒)

「しろしか」と言つのは博多弁で、「うつつしい」と言う意味合いの言葉です。梅雨のジメジメした天気の内容などに使われる言葉で、とりわけ今年各所で耳にすることが多かったように思われます。福岡では八月に入っ

ても梅雨が明けず、高速道路の福岡・太宰府間は寸断され、篠栗町では悲惨な豪雨災害、福岡市も各地で冠水や浸水の被害があり、多くの人たちが悩まされました。

このような暗いニュースが続くなかで、福岡支部の明るい話題をお伝えさせていただきます。それは若手世代の参加です。ご案内の通り、福岡支部では毎月第三火曜日に支部会員の懇親会『福岡東鷹会サロン』を開催しています。これまで中高年中心の集まりでしたが、今年から若い世代や女性たちが積極的に参加するようになり、たいへん明るく元気な雰囲気になりました。親子以上に歳が離れていても、田川東高校・東鷹高校の卒業という唯一の共通項だけで、話が弾み、同窓の縁に感慨もひとしおです。また、若手世代を中心に、SNSのミクシィを利用して、自立的なコミュニティ『東鷹会サロン in 福岡』を立ち上げているとことで、ぜひ若い人たちはアクセスしてみてください。

また、『福岡東鷹会ゴルフ同好会』も三回のコンペの開催を経て、今年の十月には第四回のコンペを計画しています。今後は、本部並びに各支部にも働きかけて、合同コンペの開催へ発展させたいと福岡支部では話し合われています。私ども福岡支部で主催している『福岡東鷹会サロン』や『福岡東鷹会ゴルフ同好会』そして『東鷹会サロン in 福岡』

のネットコミュニティは、いづれも同窓生であれば自由にご参加できますので、福岡支部外の皆様にもお気軽にご参加ください。お待ちしております。

さて、今年は福岡支部の総会・懇親会の開催年であります。規約通り、十一月の第二日曜日、つまり十一月八日(日)に開催させていただきます。場所も、前回と同じ、交通至便な天神地区の『福岡国際ホール』を予定しています。現在、役員会や学年幹事会で会議を重ね、着々と準備を進めています。今回からエリアが拡大され、福岡南部の他に、佐賀、長崎、熊本、鹿児島沖縄も福岡支部エリアになっていきますので、遠隔の方にもぜひご参加いただくようお願いいたします。また、ふるさと田川及び北九州地区も、十分日帰りできる距離でありますので、多くの方に「ご参加お願いします。関東・関西支部の皆さんも大歓迎です。何卒ご参加、ご協力を賜りますよう、宜しくお願いたします。

